

3．技術開発の内容

(1) ハード面

(2) ソフト面

4．省エネルギー性

注 ハード面；素材の開発、省エネ新規要素技術、機材計上の小型化、要素機材の構成方式の改良、構造の改良等の技術開発。
ソフト面；運転制御法、部分負荷制御法、等制御技術の開発及び自然エネルギーとの組み合わせ補完技術
当該開発技術による省エネルギー性への寄与・貢献（低減されたエネルギー消費量、及び省エネ率、機器・システム全体への寄与率等）を定量的に記載して下さい。

4．省エネルギー性については下記のようにできるだけ具体的定量的に記入して下さい。（判る範囲で記載して下さい）

(1)原材料エネルギー低減率（代表する3種類の素材量の低減とそれぞれの製造エネルギー原単位から計算した値）

素材名、低減料（kg/台）、エネルギー原単位（kl/kg）、=省エネ量（kl/台）

(2)製造エネルギー低減率（製造プロセスにおける消費エネルギーの低減量）

貴社従来機種及び競合他社の類似機種との比較

(3)当該機器寿命の延べ時間

1回の平均使用時間×使用回数； = 時間

または 年平均負荷率×年数×8760； = 時間

(4)使用時の省エネ性又は効率の向上（負荷/効率特性）・特定機器は性能を確認した試験法などの準拠を記載して下さい。

(5)排熱等の利用機能

注 省エネルギー性は審査の重点項目となります。

特定機器に関しては、使用時の省エネ性に関する定量的比較を競合他社の類似機種の最新型との比較について記載して下さい。

待機電力について該当する値＝（W）又はその省電力性を記載して下さい。

記載はA4フルサイズの枠にして記入して構いません。